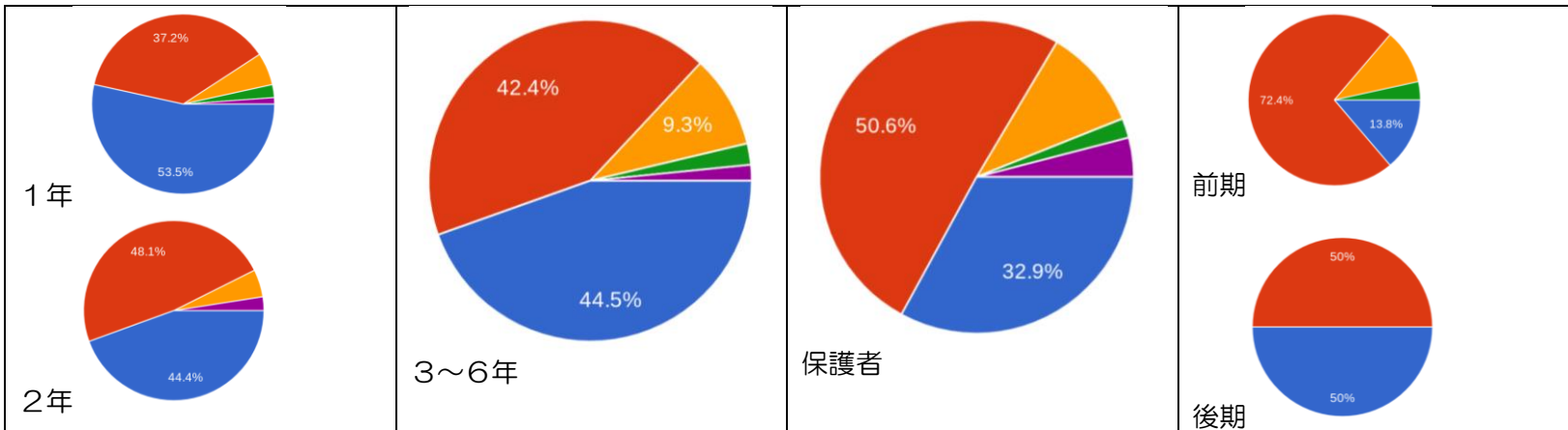


令和6年度 上作延小 学校評価分析

かしこい子 「夢や目標に向かって、自ら考え、継続しようとする子」「自分の思いや考えをのびのびと表現する子」

学校教育方針（5つの柱より）	低学年	中高学年	保護者	教職員																																																																								
1) 確かな学力の育成 「学ぶ楽しさ」	①共に学び、高めあう喜びを実感できる授業づくり（意欲的な学び）																																																																											
<p>共に学び、高め合う喜びを実感できる授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● そうおもう ● どちらかという、そうおもう ● どちらかという、そうおもわない ● そうおもわない ● わからない 	<p>あなたは「なぜかな」というぎもんや「もっと知りたい」というおおいをもってがくしゅうしています。</p>	<p>あなたは「なぜかな」という疑問や「もっと知りたい」という思いをもって学習をしています。</p>	<p>お子さんは、学習内容や課題に興味をもち、学習に取り組んでいます。</p>	<p>私たちは、児童が自ら関心や課題をもち、学習に取り組むような授業づくりをしている。</p>																																																																								
	<p>1年</p> <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>そうおもう</td><td>55.8%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもう</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもわない</td><td>7%</td></tr> <tr><td>そうおもわない</td><td>7%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>0%</td></tr> </table> <p>2年</p> <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>そうおもう</td><td>35.8%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもう</td><td>37%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもわない</td><td>12.3%</td></tr> <tr><td>そうおもわない</td><td>8.6%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>0%</td></tr> </table>	Category	Percentage	そうおもう	55.8%	どちらかという、そうおもう	29.1%	どちらかという、そうおもわない	7%	そうおもわない	7%	わからない	0%	Category	Percentage	そうおもう	35.8%	どちらかという、そうおもう	37%	どちらかという、そうおもわない	12.3%	そうおもわない	8.6%	わからない	0%	<p>3～6年</p> <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>そうおもう</td><td>33.9%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもう</td><td>47.2%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもわない</td><td>9.9%</td></tr> <tr><td>そうおもわない</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>2.5%</td></tr> </table>	Category	Percentage	そうおもう	33.9%	どちらかという、そうおもう	47.2%	どちらかという、そうおもわない	9.9%	そうおもわない	6.6%	わからない	2.5%	<p>保護者</p> <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>そうおもう</td><td>41.3%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもう</td><td>44.8%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもわない</td><td>9.2%</td></tr> <tr><td>そうおもわない</td><td>2.7%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>1.8%</td></tr> </table>	Category	Percentage	そうおもう	41.3%	どちらかという、そうおもう	44.8%	どちらかという、そうおもわない	9.2%	そうおもわない	2.7%	わからない	1.8%	<p>前期</p> <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>そうおもう</td><td>23.3%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもう</td><td>73.3%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもわない</td><td>0%</td></tr> <tr><td>そうおもわない</td><td>0%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>0%</td></tr> </table> <p>後期</p> <table border="1"> <tr><th>Category</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>そうおもう</td><td>42.1%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもう</td><td>57.9%</td></tr> <tr><td>どちらかという、そうおもわない</td><td>0%</td></tr> <tr><td>そうおもわない</td><td>0%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>0%</td></tr> </table>	Category	Percentage	そうおもう	23.3%	どちらかという、そうおもう	73.3%	どちらかという、そうおもわない	0%	そうおもわない	0%	わからない	0%	Category	Percentage	そうおもう	42.1%	どちらかという、そうおもう	57.9%	どちらかという、そうおもわない	0%	そうおもわない	0%	わからない	0%
Category	Percentage																																																																											
そうおもう	55.8%																																																																											
どちらかという、そうおもう	29.1%																																																																											
どちらかという、そうおもわない	7%																																																																											
そうおもわない	7%																																																																											
わからない	0%																																																																											
Category	Percentage																																																																											
そうおもう	35.8%																																																																											
どちらかという、そうおもう	37%																																																																											
どちらかという、そうおもわない	12.3%																																																																											
そうおもわない	8.6%																																																																											
わからない	0%																																																																											
Category	Percentage																																																																											
そうおもう	33.9%																																																																											
どちらかという、そうおもう	47.2%																																																																											
どちらかという、そうおもわない	9.9%																																																																											
そうおもわない	6.6%																																																																											
わからない	2.5%																																																																											
Category	Percentage																																																																											
そうおもう	41.3%																																																																											
どちらかという、そうおもう	44.8%																																																																											
どちらかという、そうおもわない	9.2%																																																																											
そうおもわない	2.7%																																																																											
わからない	1.8%																																																																											
Category	Percentage																																																																											
そうおもう	23.3%																																																																											
どちらかという、そうおもう	73.3%																																																																											
どちらかという、そうおもわない	0%																																																																											
そうおもわない	0%																																																																											
わからない	0%																																																																											
Category	Percentage																																																																											
そうおもう	42.1%																																																																											
どちらかという、そうおもう	57.9%																																																																											
どちらかという、そうおもわない	0%																																																																											
そうおもわない	0%																																																																											
わからない	0%																																																																											
<p>お子さんが、課題に向かい、周りと協力して解決に向かう授業展開を心がけてきています。思考力の向上をめざした校内研究を行ったり、研修を設けたりしてきました。お子さんはそれぞれ挑戦していると感じているようですが、達成の差がそのまま意欲に反映されていると思います。自身の学びを深めようとする姿は全学年で見られるので、課題を工夫すると共に、活動の見通しを明確に伝え、過程の頑張りを価値づけ、自己評価として振り返れるような授業づくりに努めます。</p>																																																																												
②共に学び、高めあう喜びを実感できる授業づくり（協働的な学び）																																																																												
	<p>がっこうのじゅぎょうでは、すすんでともだちとかがどうしています。</p>	<p>学校の授業では、進んで周りの人と話し合いながら課題を解決しようとしています。</p>	<p>お子さんは、周りの人の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりして、学習を広げたり深めたりしています。</p>	<p>思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力などの育成をめざし、児童が学びを深められる授業づくりをしている。</p>																																																																								

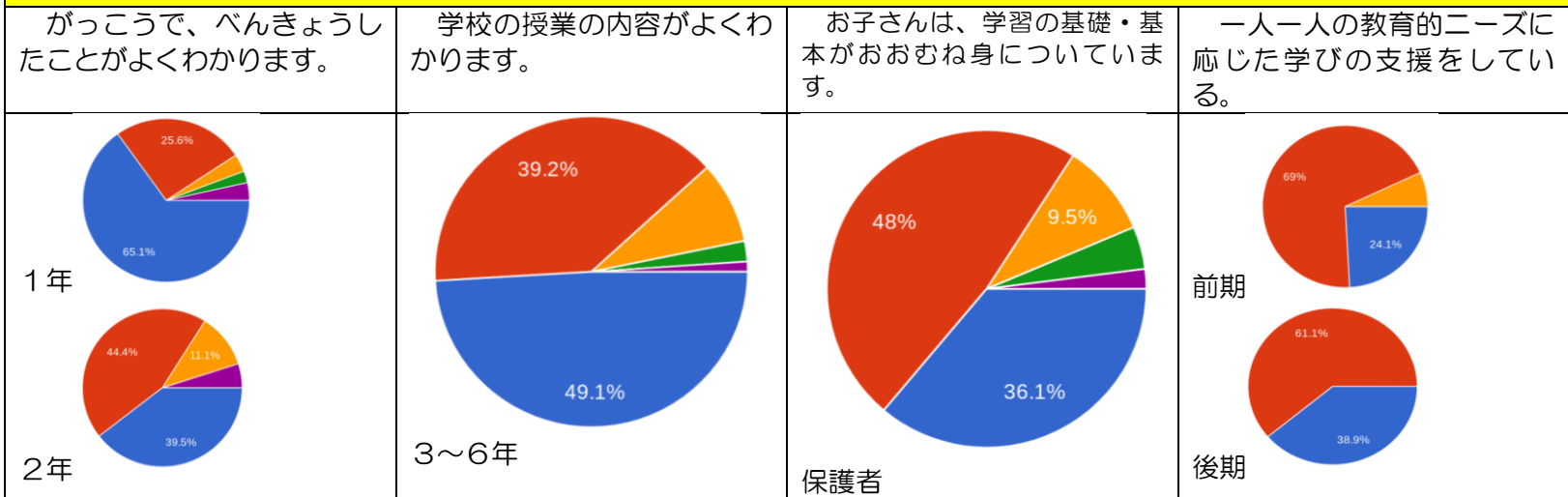


前年度の研究で大切にしてきた「話の聴き方・話し方ステップシート」の掲示をしたり、思いや考えを表現しやすい学級づくりを心がけたりしながら授業に取り組んできました。子どもたちは、友達と協力しあって学習したり、活動したりすることで課題を解決したり、考えを深めたりしていました。今後も、さらに友達との協働的な学習活動を通して、自分の思いや考えを表現したり、相手がいることで学びに深みをもたせたりできるような授業づくりに努めていきます。

支援教育の充実

③支援教育の充実（個別最適な学び）

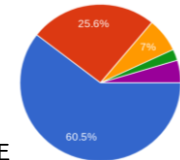
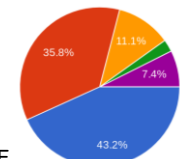
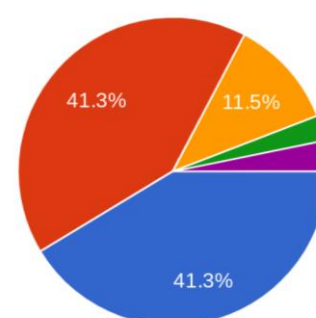
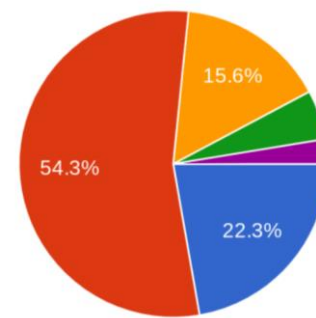
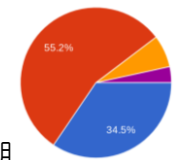
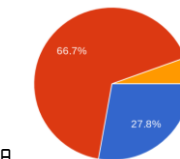
- そうおもう
- どちらかというと、そうおもう
- どちらかというと、そうおもわない
- そうおもわない
- わからない



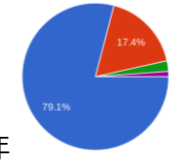
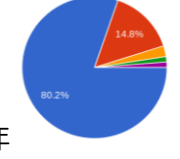
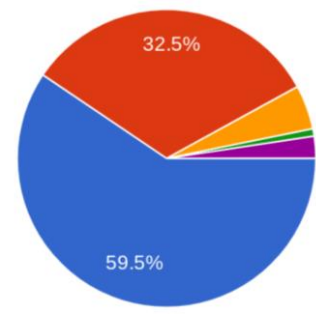
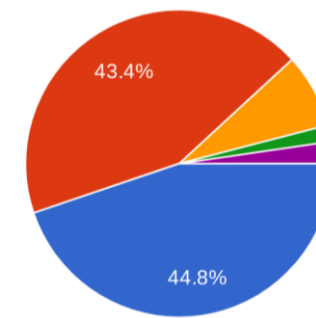
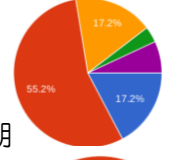
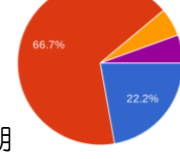
お子さんの実態を考慮しながら、お子さんが学習で身に付けるべき力はどのようなものか、身に付けた力を生かせる場面はないかを確認しながら、授業をするようにしました。学習内容に興味をもっている場面が多うかがえます。個に応じた支援を意識しながら、意欲的に高めていけるような授業づくりに努めていきます。

④支援教育の充実（粘り強く取り組む）

あなたは、にがてなことや、むずかしいことでも、さ	あなたは、苦手なことや、難しいことでも最後まで諦め	お子さんは、苦手なことや、困難なことに対して、最後ま	子どもたちが困難なことがあっても諦めず、粘り強く取
--------------------------	---------------------------	----------------------------	---------------------------

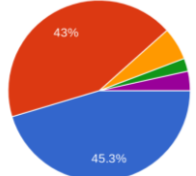
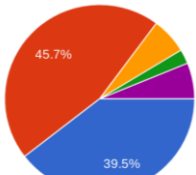
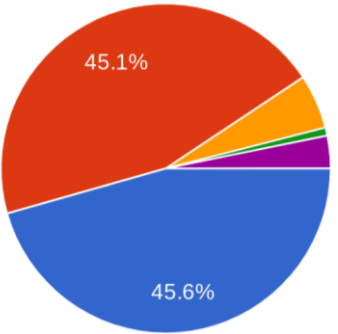
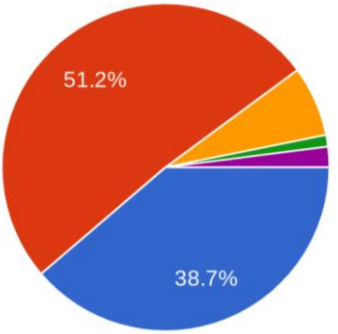
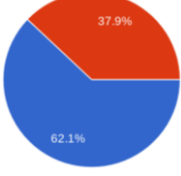
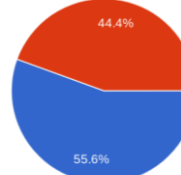
いごまであきらめずにとりく んでいます。	ずに取り組んでいます。	で諦めずに取り組んでいま す。	り組めるように多種多様な手 立てで支援している。
<p>1年</p>  <p>2年</p> 	 <p>3～6年</p>	 <p>保護者</p>	<p>前期</p>  <p>後期</p> 
<p>学校生活や授業を通して、実態に応じた課題を設定し、挑戦したり、努力を積み重ねたりできるように声をかけてきました。特に、最後まで、あきらめずチャレンジする姿を積極的に価値つけてきました。しかし、難しい事や苦手な事は後回しにしたり、諦めて取り組まなくなったりする場面も見られました。今後は、お子さんのやり抜こうとする姿をさらに積極的に認めると共に、達成感を感じられるような振り返り活動を意識して活動を展開し、目標に向かって粘り強く挑戦していく心を育てていきます。</p>			

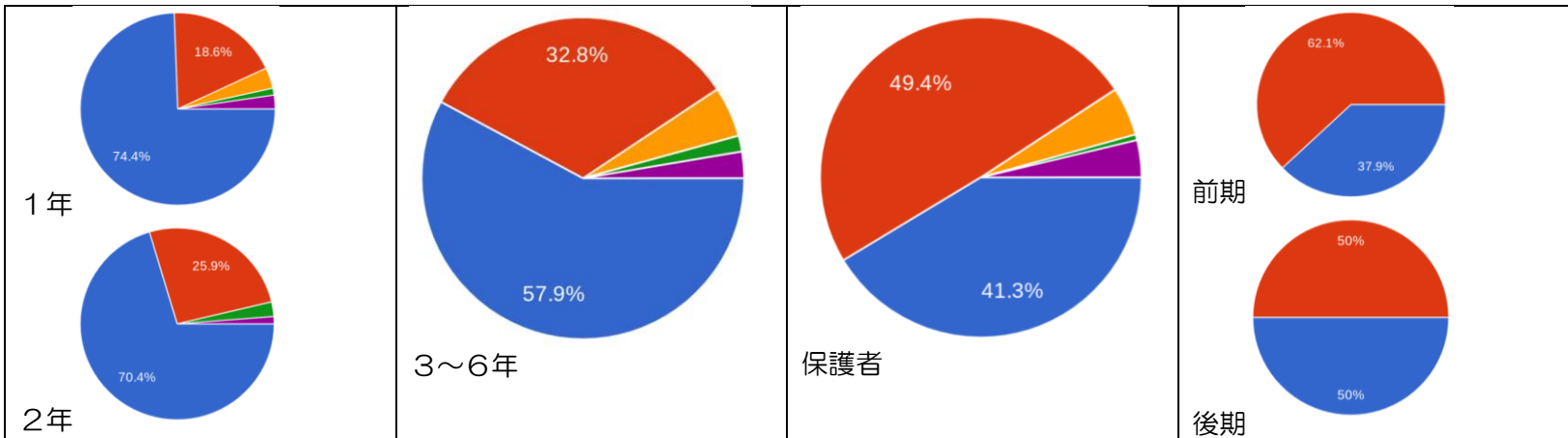
GIGA スクール構想の推進 ⑤GIGA スクール構想の推進（G I G A端末の活用）

<p>● そうおう ● どちらかという、そうおう ● どちらかという、そうおもわない ● そうおもわない ● わからない</p>	ギガたんまつのただしいつ かいかたやルールをまもって います。	あなたは、GIGA 端末の使 い方のルールを守りながら、 学習の中で役立っています。	お子さんは、GIGA 端末などの 情報機器のルールを理解し、活 用して学習しています。	私たちは、情報機器を適正 に活用した授業づくりに取り 組んでいる。
<p>1年</p>  <p>2年</p> 	 <p>3～6年</p>	 <p>保護者</p>	<p>前期</p>  <p>後期</p> 	

GIGA 端末を活用した授業づくりの研修や情報交換会を行い、指導者のスキルアップに努めると共に、お子さんの成長に応じて GIGA 端末を活用した授業の実践に努めてきました。基本的な使い方には慣れ、様々な機能を使った学習などにも取り組んでいます。また、週末や長期休業時に端末を持ち帰ることで、それぞれ個別の課題を進めたり調べ学習などにも役立ってたりしました。なかなか約束が守られていないお子さんの様子も見られるので、年度当初から情報モラル教育を行いながら活用していきます。

やさしい子「自分も人も大切にし、共に考え課題解決に向かって行動する子」

学校教育方針	低学年	中高学年	保護者	教職員
2) 豊かな心とたくましい実践力の育成 「自主 認め合い」				
自尊感情を高め、豊かな人間関係を築く教育の充実 ● そうおもう ● どちらかというと、そうおもう ● どちらかというと、そうおもわない ● そうおもわない ● わからない	⑥自尊感情を高め、豊かな人間関係を築く教育の充実（規範意識）			
	よいことかわるいことかをかかんがえて、ただしいうどうをしています。	あなたは、良いことか良くないことか、しっかり考えて判断し、正しいことを行動しています。	お子さんは、自分で考えて良いと思うことを進んで行動したり、良くないことはしない決断をしたりする力が育っています。	私たちは、正しいことや良いことを児童に伝えるように評価し、場面に応じて、声をかけ価値づけしている。
	1年  2年 	3～6年 	保護者 	前期  後期 
朝会、集会、道徳や学級活動等の時間を通して、「きまり」についての理解を深め、「きまり」を守ることの大切さを指導しています。お子さんは頭では理解していても衝動的に行動してしまう場面も多く、一つ一つ丁寧に指導をしているところです。今後も、規範意識を高めていくとともに、規範を守れなかった場面では実の学びにつながる機会ととらえ指導していきます。また、学校や仲間のために自分の力を発揮している姿があれば積極的に認め、励ましていきます。				
⑦自尊感情を高め、豊かな人間関係を築く教育の充実（豊かな人間関係）				
いろいろなどもだちとなかよくしています。	いろいろな人がいたり多様な考え方があったりすることを理解し、誰とでも仲良く過ごそうとしています。	お子さんは、様々な考え方や立場の人たちがいることを理解し、誰とでも仲良く過ごそうとしています。	多様な他者との関わりの機会を設定し、協力して学校生活を送れるように指導・支援を行っている。	



道徳や特別活動の時間を通して、人と関わる良さを学ぶ機会や友達と一緒に活動する場面をもうけてきました。その過程で、お子さんの良さが現れた時には声をかけたり、全体に紹介したりしてきました。時として、困難に直面した場面では、寄り添い、互いに理解を促してきました。他者と共に生活するという事は、思い通りにならない事や譲り合わなければならない事も多くあります。ある段階では上手くいっていないと感じられる場合でも、体験を積み重ねることで、より良い学びにつながっていくと考えています。

夢や希望をもち主体的に活動する態度の育成

⑧夢や希望をもち主体的に活動する態度の育成（主体的に生活する）

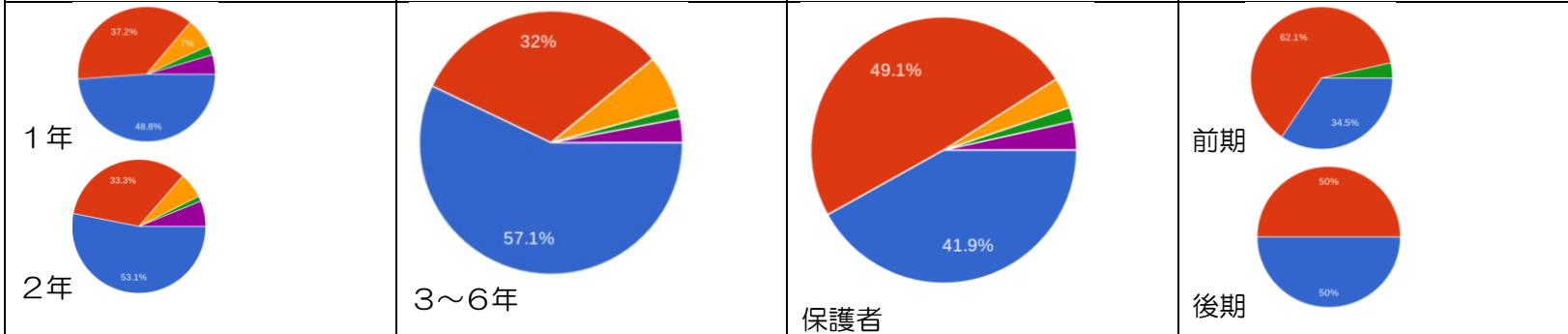
- そうおもう
- どちらかというと、そうおもう
- どちらかというと、そうおもわない
- そうおもわない
- わからない

クラスやがくねんのともだちときょうりよくして、しゅうかいやぎょうじなどをたのしんでいます。

あなたは、クラスや学年、他学年の友達と協力し、集会や行事などを工夫しながら楽しんでいます。

お子さんは、係・実行委員・学校や学年の行事などの活動を通して、自分で考えたり工夫したりする力や友達と協力する力が育っています。

私たちは、児童がより良い学校生活を送るために、考えたり工夫したりしながら友達と協力していけるように支援している。



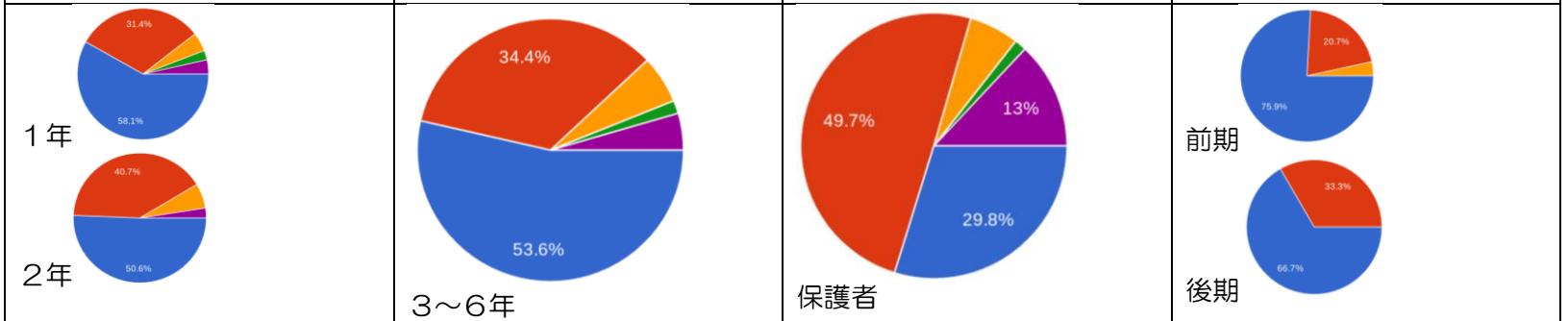
クラブ活動・委員会だけでなく、学年交流・学習発表会・学校公開日などでも互いに関わる姿が見られました。相手意識をもち協力して活動する大切さを学んでいます。子どもが自主的という視点では、まだまだ伸びしろがありますが、指導者が場面に応じて支援していくことで、経験や自信につながっています。さらに、学級での係や当番などを充実させることで、異学年との交流や行事での活動の豊かさにつながると考え、指導していきます。

児童理解、教育相談の充実

◎児童理解、教育相談の充実（いじめの対応）

- そうおもう
- どちらかという、そうおもう
- どちらかという、そうおもわない
- そうおもわない
- わからない

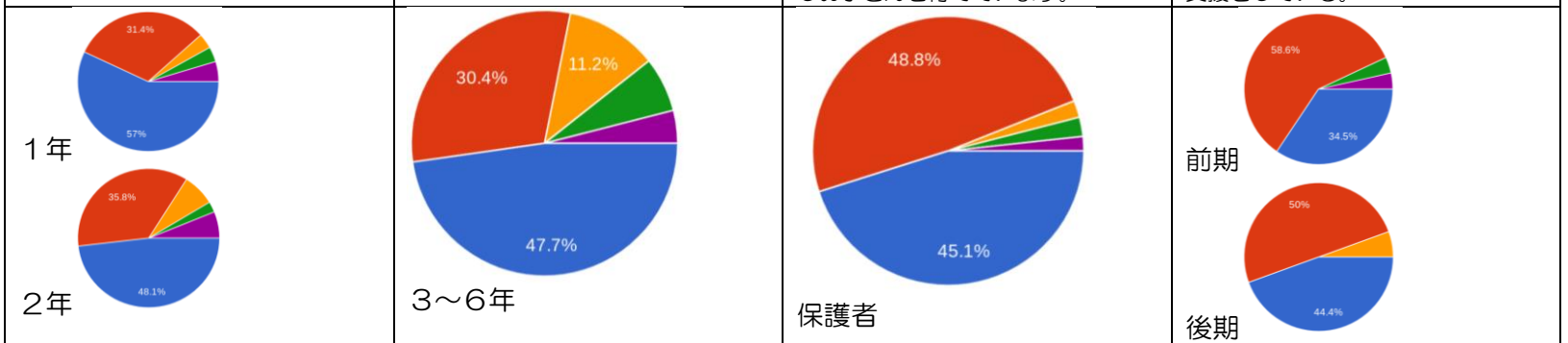
ともだちがかなしむことはせず、いじめをみかけたら、こえをかけた、せんせいやおうちの人につたえたりしようとしています。	友達が悲しむことをせず、いじめを見かけたらそのままにしないで、自分にできる行動をとろうとしています。	お子さんは、友達が悲しむことをしないで、困っている人やいじめを見かけたらそのままにせず、自分にできる行動がとれています。	いじめを許さない学級・学年の風土づくりに努め、各々の人格が尊重されるよう、児童の情報を教職員間で共有し、指導・支援を行なっている。
--	--	--	---



年度当初からいじめを許さない学級、学年の方針を伝え、お子さんの様子や学級、学年を見渡しながら問題点の早期発見に努めてきました。早期に発見し、対応できた場面では良い成果に結びついています。ご家庭からのご相談から学校が気づく事もあり、ご家庭との連携の大切さを実感しています。お子さんの間でおこる課題に対して「問題」ととらえるのではなく、実の場の「機会」として捉えることで、より良い学びに結びつけられるようにしていきます。

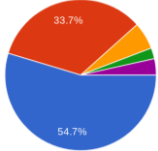
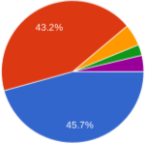
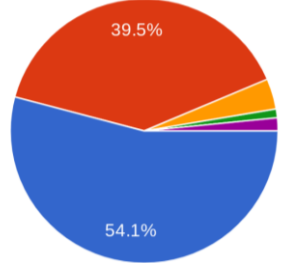
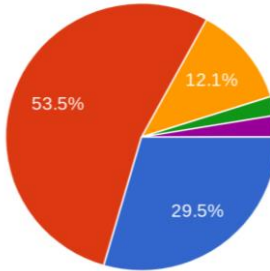
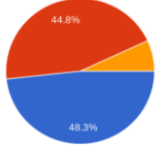
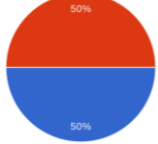
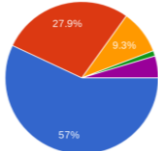
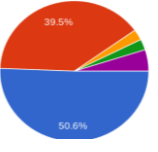
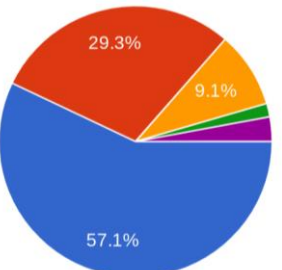
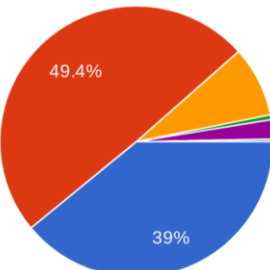
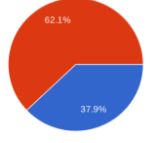
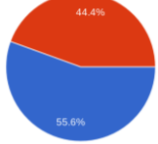
⑩児童理解、教育相談の充実（児童理解）

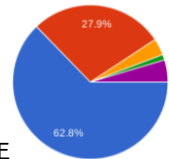
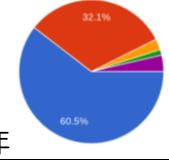
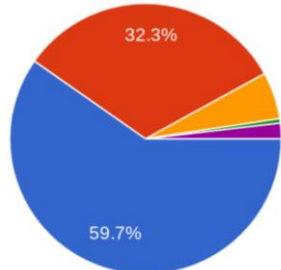
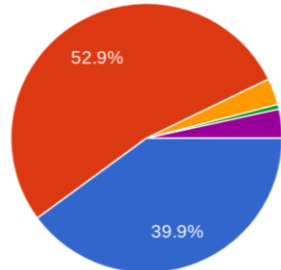
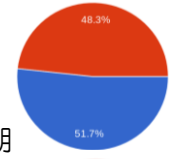
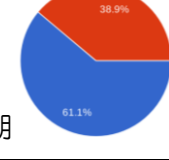
こまったことがあるときには、おうちの人やせんせいなどのみぢかな人にはなそうとおもいます。	悩みや困りごとがある時は、親や先生などの身近な大人に相談しようと思います。	学校便り、学校webサイトや個人面談、懇談会などを通して、学校の方針を理解したり、お子さんの様子を共有したりしながら、学校と連携しお子さんを育てています。	学校便り、ホームページや個人面談、懇談会などを通して教育活動について発信、共有し、地域や保護者と協力、連携しながら児童の指導・支援をしている。
--	---------------------------------------	---	---



学校からのお知らせ、学校・学年だより等、必要な情報を学校 Web ページで伝えるようにしました。また、緊急性の高いお知らせはミマモルメを通してお伝えしました。ご家庭でもお子さんと話題にいただけることを期待しています。学年が進むにつれて、お子さんは悩みを伝えづらくなるようです。児童支援のアンケート、相談ポストなどを通して、一人一人に寄り添うとともに、児童理解研修などを通して、言動や様子から思いをキャッチする機会を増やしていきたいと思っています。

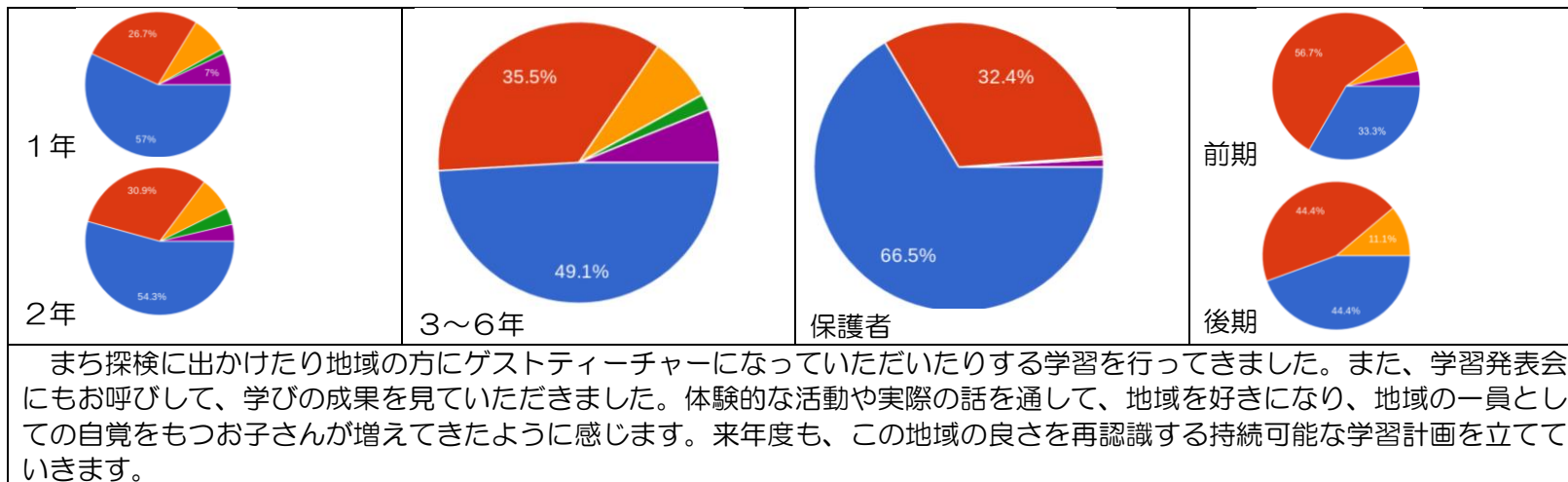
たくましい子「困難なことがあってもあきらめず、粘り強く取り組む子」

学校教育方針	低学年	中高学年	保護者	教職員
3) 健やかな心情の育成と安全・安心な学校生活づくり 「安心・安全」				
心身ともに安全で健康な生活を自ら実践する態度の育成 ● そうおもう ● どちらかというと、そうおもう ● どちらかというと、そうおもわない ● そうおもわない ● わからない	⑪心身ともに安全で健康な生活を自ら実践する態度の育成（心の健康・マナー）			
	あいさつをしたりじかんとをまもったりして学校せいかつをおくっています。	あなたは、自分から挨拶することや時間を守ることなど、約束やマナーを守り、周りの人のことを考えながら生活しています。	お子さんは、進んで挨拶をし、時間・約束・マナーを守って生活しています。	私たちは、児童が進んで挨拶をし、時間・約束・マナーを守って生活できるように指導や支援をしている。
	1年  2年 	3～6年 	保護者 	前期  後期 
生活習慣に関して、望ましい言動があったときには、学級や学年全体で話題にして取り上げて褒め、正しい習慣として価値づけるようにしてきました。また、「月の生活目標」を掲げることで生活習慣を意識する子どもが増えるようです。「あいさつ」などは、できている場面とそうでない場面に差があり、教職員から進んであいさつをしたり、声をかけ価値づけしたりと継続的に声をかけていく必要があります。「あいさつ運動」後、挨拶するお子さんが増えたという声も聞こえてくるので、活動の工夫によっても良い習慣を促していきたいです。				
⑫心身ともに安全で健康な生活を自ら実践する態度の育成（食育・運動）				
ながてなたべものもすこしはたべようとしていたり、休みじかにこういであそんだりしています。	苦手なものも少しは食べてみるなど、栄養バランスの良い食事を取り、適度な運動を行っています。	お子さんは、運動や食生活の大切さを意識し、心身ともに健康で生き生きと生活しています。	私たちは、特活や保健体育、きらきらタイムや給食指導を通し、児童の健康の維持、体力の向上を図っている。	
1年  2年 	3～6年 	保護者 	前期  後期 	
年度当初に給食の約束やマナーなどを示すことで、楽しく豊かな給食時間になるようにしていきました。栄養職員が作成する「給食だより」や養護教諭から出される「保健だより」を通じて、ご家庭にもお子さんの成長への促しを呼び掛けていま				

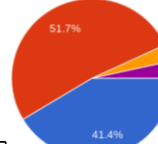
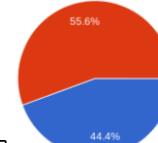
	す。紙面に出しているので、お子さんと一緒に読み、話題にさせていただけたことと思います。また、「キラキラタイム」を全校で実施することで運動への関心も喚起してきました。今後ともにお子さんの心身の成長の基礎づくりをしてまいります。			
安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ● そうおもう ● どちらかというと、そうおもう ● どちらかというと、そうおもわない ● そうおもわない ● わからない 	⑬安全教育の充実（安全な環境）			
	ろうかのあるきかたやこうていで のあそびかた、こうつうルールをま もったりとあんぜんにきをつけてせ いかつしています。	あなたは、廊下の歩き方や、校庭での 遊び方、登下校での交通ルールを守った り、避難訓練に真剣に取り組んだりし て、安全に気をつけて生活しています。	お子さんは、学校の避難訓練、安 全教室などの安全教育を通して、日 頃から安全に気をつけて生活してい ます。	私たちは、安全教育・防災教育・ 人権教育の推進により児童 の安全・安心を守っている。
	1年  2年 	3～6年 	保護者 	前期  後期 
今年度は川崎市の代表として「防災教育の推進校」となりました。実の場を想定した災害時の訓練（避難・引き渡し）、不審者対応訓練などを行いました。それぞれ反省を生かしながらより安全で安心な学校をめざしています。また、地域の安全上必要に応じて「ミマモルメ」を活用し、保護者の方に情報をお伝えしてきました。災害時だけでなく、廊下の歩行など、日常の安全意識も高められるように支援し、お子さんの安全を見守っていけるよう取り組んで参ります。				

地域と共に

学校教育方針	低学年	高学年	保護者	教職員
4) 地域に根差した特色ある学校づくり 「つながり」				
開かれた学校づくり	⑭開かれた学校づくり 地域への愛着と誇りの確立（地域理解）			
地域への愛着と誇りの確立 <ul style="list-style-type: none"> ● そうおもう ● どちらかというと、そうおもう ● どちらかというと、そうおもわない ● そうおもわない ● わからない 	1年むかしあそび、ゆめパーク、ひがしたかねしんりんこうえん 2年サツマイモ・まちたんけん）などをおして、かみさくのべのいいところをみつめています。	あなたは、（3年のらぼうな市内めぐり、4年地域の環境、5年大根づくり、6年地域防災）上作延の地域の良さを知り、もっと素敵な地域になるように考えたり行動したりしています。	学校は、生活科や総合的な学習の時間（1年ゆめパーク、2年野菜、サツマイモ、まちたんけん 3年のらぼうなづくり、4年地域の環境、5年大根づくり、6年地域防災）などでの地域との関りや食育などを通して、地域の良さや特色を取り入れた教育活動を行っています。	地域の特徴や人材を生かしたカリキュラムマネジメントを行っている。



チーム力

学校教育方針	低学年	高学年	保護者	教職員
5) 教職員の授業力の向上「組織として働く チーム力」				
教職員の児童理解力・指導力の向上 支え合う教職員集団づくり 働き方・仕事の進め方改革の 推進 <ul style="list-style-type: none"> ● そうおもう ● どちらかというと、そうおもう ● どちらかというと、そうおもわない ● そうおもわない ● わからない 	⑮教職員の児童理解力・指導力の向上			
	なし	なし	なし	私たちは、年間反省を生かして、教育活動を計画、実践している。
	なし	なし	なし	<p>前期</p>  <p>後期</p> 
<p>学校内、職員間のことで、お子さんやご家庭では測りづらいと思い、アンケートでのご質問は遠慮させていただきました。教職員は7回の校内研究会、2回の学校外の公開授業に加え、外部講師を読んだ研修や自主研修を度々行ってきました。日々、研鑽に努めてきましたが、まだまだ課題は山積しています。この度のアンケートの結果等を分析し、組織づくりや研修に生かしていきます。</p>				